

教えて！ 認定さん

Vol.3

『教えて！認定さん』は、認定看護師の活動報告、各領域のトレンドなどを中心に情報発信することを目的としています。

今回はVol.3ということで、各認定看護師より活動報告させていただきます。

トピックス 皮膚・排泄ケア認定看護師が誕生しました！

- ・中村Nsが皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました！
- ・佐藤Nsが認定後5年の更新審査に無事合格しました！
- ・保脇Nsが現在特定行為研修に参加しています！

救急看護認定看護師
保脇 佳奈恵

2025年11月に日本救急看護学会学術集会に参加しました。学会では「革新と連携への振る舞い」というテーマで多くの救急領域に関連した発表、シンポジウムがありました。その中で、蘇生ガイドラインが2025年度に改定され2026年に発表される予定となっています。今回の改定では屋外での蘇生事例のプライバシー保護についてや、除細動で十分な効果が得られないときのベクトルチェンジについて新たに組み込まれるそうです。これらの内容についてはACLS部会を通じてみなさんに伝達していきたいと思っています。

みなさんご自身のキャリアについてどのように考えていますか？さまざまなライフステージに合わせて「今後自分はになりたいか」と考える機会があると思います。クランボルトの理論というものがあり、キャリアの8割は予期せぬ出来事によって決まるという考え方です。偶然を単なる運で終わらせず、好奇心や柔軟性をもって行動し、自らチャンスに変えることを提唱しています。私自身、認定看護師の教育課程に行くことができたのは、尊敬する先輩と出会ったこと、たまたま和歌山県が教育課程を開講したことがきっかけです。認定看護師になり多くの役割、活動をさせていただいて今の私がいます。今回、特定行為への好奇心と新しい機会を得てみようという楽観性から特定行為研修に参加しています。たくさんの方のe-ラーニングを受講し、知識の再構築、フィジカルイグザミネーションの訓練をしています。ここで得た知識・技術を患者さんと看護部のみなさんに還元できるよう頑張ります。



こちらのQRコードからでも相談できます！



- ・ 認定の学校に行った時の話
- ・ 勉強方法
- ・ 進路相談

などなど

皮膚・排泄ケア認定看護師
中村 駿

このたび、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得いたしましたので、ご報告いたします。日頃より患者さんのケアに携わるなかで、褥瘡や創傷、ストーマ管理、失禁管理皮膚炎などに関する課題を感じていました。今回の研修では、これらの分野について専門的知識と実践的な技術を学び、臨床でより根拠に基づいたケアを提供できるようになりました。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、褥瘡や創傷、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）、失禁に伴う皮膚障害など、皮膚と排泄に関する問題を専門にケアする看護師です。患者さんへの直接的なケアに加えて、スタッフの皆さんからの相談対応やケア方法の提案、教育支援を行う役割があります。特に、皮膚障害は早期対応が重要であり、日々の観察やちょっとした気づきが重症化の予防につながります。そのような場面で、スタッフの皆さんと一緒に考え、ケアの選択肢を広げる存在になればと考えています。

今後は、病棟ラウンドやコンサルテーション対応を通じて現場での支援を行うとともに、勉強会や事例共有などの機会を設けていく予定です。新人看護師をはじめ、経験年数にかかわらず、日々のケアのなかで、「これでいいのかな」と迷う場面があれば、気軽に声をかけていただけたらうれしいです。ケアと一緒に考えることが、患者さんの安楽や皮膚障害の予防・改善につながり、スタッフの皆さんの負担軽減にもつながると考えています。

まだまだ勉強の途中ではありますが、院内の皮膚・排泄ケアの質向上に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

感染管理認定看護師
佐藤 慎悟

2024年度診療報酬改訂により、当院のような感染対策向上加算Ⅰを算定している病院は、病院のみならず、高齢者施設との感染対策連携が求められるようになりました。高齢者施設は、新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス、疥癬等、様々な感染症がアウトブレイクするリスクがあります。我々感染対策向上加算Ⅰを算定する病院が連携し、平時より専門的な助言や指導、相談が出来る関係性を構築しておくことが重要です。当院は、現在3つの高齢者施設と連携しており、来年度はさらに1施設加わる予定です。今年度は、連携する3施設と合同でカンファレンスを開催しました。内容は、手指衛生を中心とした標準予防策の向上を目指し、ディスカッションを行いました。高齢者施設の方々も手指衛生向上に対する意識が高まっていると感じました。その他、新興感染症を想定し、PPE着脱演習、N95マスクフィットテストを行いました。非常に有意義なカンファレンスになりました。

